

## 講演者プロフィール

### フレデリック・アンギュロ博士 (Dr. Frederick James Angulo)

フレデリック・アンギュロ博士はカリフォルニア大学ディビス校で獣医学部を卒業後、カリフォルニア大学ロサンゼルス校で博士号を取得し、1993年より米国疾病管理予防センター (CDC) に勤務し、1995年から、疫学の専門家として、CDCの感染症センター 細菌および真菌症部 食品媒介・下痢性疾患部門 (Foodborne and Diarrheal Diseases Branch, Division of Bacterial and Mycotic Diseases, National Center for Infectious Diseases) において、FoodNetならびに薬剤耐性菌監視システム (NARMS) の責任者に就任している。

この実績により、WHOあるいはFAO/WHO/OIEによる多くの専門家会議に招聘され、それら国際機関による報告書や勧告の作成に携わってきた。主なものには、WHO Global Salm-Surv (サルモネラを始めとする食品媒介病原体のラボと疫学チームの国際ネットワーク) の運営、下痢性疾患患者数の実態把握のための国際会議、薬剤耐性菌対策のための国際会議、食品媒介疾患サーベイランスシステムのための国際会議等がある。2004年3月からは、下痢疾患患者数の実態把握のためのアクティブサーベイランスに取り組む各国の間での情報交換を目的としたリストサブを立ち上げ、国立医薬品食品衛生研究所のプロジェクトにおいて助言を行っている。

CDC (Center for Disease Control and Prevention)

米国健康福祉省 (Department of Health and Human Services) に設置された12の機関の一つ。疾病の防止・制御を図ることにより健康な生活を促進することを目的として、健康や安全性についての信頼できる情報の提供、州政府や民間企業などとの連携強化を図る。

<http://www.cdc.gov/>

FoodNet (The Foodborne Diseases Active Surveillance Network)

米国CDCの新興感染症プログラム (EIP: Emerging Infections Program) における食品媒介疾患サーベイランスシステム。食品媒介疾患のより正確な実態把握、発生動向調査、原因食品や感染経路の特定等を目的として1995年に始動。住民、医療機関、検査機関への積極的調査、散発事例を対象とした症例対照研究などから成り立っている。同様のシステムはイギリス、オーストラリア、オランダ、アイルランドなど、十数ヶ国でも実施されている。 <http://www.cdc.gov/foodnet/>

NARMS (National Antimicrobial Resistance Monitoring System)

全米耐性菌監視システム。FoodNet同様、CDCのEIPプログラムとして1996年に始動。CDC、USDA、FDAが協力し、薬剤耐性菌の監視、調査、疫学調査を行っている。

<http://www.cdc.gov/narms/>